

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp

HPサイト http://www.kenpoukaigi.gr.jp

本号 297 第 297 号

2011年7月14日

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

## 11 団体の呼びかけで 7・13 院内集会 比例定数削減法案を出させない世論と運動今こそ！

**比例定数削減今国会中も予断許さぬ情勢** 民主党は先に開いた政治改革推進本部総会（7月7日）で、岡田克也幹事長が改めて比例定数の80削減案を示し、「現執行部で一定のところまでもっていきたい」と語るなどあくまで比例定数削減に執着しています。また自民党も定数を削減し3人区を基調とした中選挙区制案などを打ち出しています。さらに参議院の選挙制度をめぐる各党や西岡武夫議長が改革案をだすなど「衆参一体改革」の舞台もできつつあります。

### 7・13院内集会&議員要請行動に宮城、福島ふくめ50人以上が参加

こうした比例定数削減をめぐる情勢のもと、7月13日午後、衆議院第2議員会館で「憲法改悪・消費税増税・TPP参加反対、民意を無視した政治を許すな！比例定数削減反対7・13院内集会」が行われました。

よびかけは憲法会議、自由法曹団、新婦人、全学連、全商連、全労連、東京地評、農民連、婦人民主クラブ、民医連、民青同盟の11団体。集会では、柴田真佐子全労連副議長が主催者あいさつをしました。司会は小部正治自由法曹団幹事長。

### 赤嶺政賢日本共産党衆議院議員が国会情勢報告

赤嶺議員は「再生可能エネルギー特別措置法案や第二次補正予算案の審議が14日以降はじまり、菅首相降ろしの体制も強まるようだが、問題は震災復興に際し、国民の声の反映がなければ、新たな悪政推進の道具になってしまうことだ。『大連立』の一環ともいえる前原誠司前外相（民）、中谷元元防衛長官（自）、佐藤茂樹衆院議員（公）らが『新世紀の安全保障確立のため』として沖縄に行ったが、知事や公明党県本部をふくむ現地からは目的が分からないなどとそっぽを向かれた。『安保で崩れない連立』をあらわにしたものだ。永田町式連立や被災者・国民を無視した復興を許さないたたかい、論戦とともに、比例定数削減を許さず、民意反映の国会を作る」と報告しました。

参加者を代表して畑田真希子さん（東京南部法律事務所）が、新婦人、自治労連、東京地評、憲法会議などが集約した約1万人分の比例定数削減反対署名を赤嶺議員に手渡し、国民の意志を託しました。

### 田中隆弁護士（自由法曹団）の講演で学習

田中弁護士は「震災復興と比例定数削減—民主党政見と国民」と題し、「政治改革と震災復興の背景—歴史のなかの政治改革と震災」「震災復興をめぐる対抗—生活・事業の再建か、新自由主義的再構築か」「民主主義をめぐる対抗—国民による政治か、『虚構の多数』の強権政治か」「政治改革と震災復興の時をこえて—20年の時が投げかけるもの」

の項目で、約 40 分間講演し、参加者は熱心に学習しました。

### **活動報告・交流では宮城、福島など 5 人が発言**

新しく呼びかけ団体となった婦人民主クラブの小川さん、自由法曹団の坂本さんからは、比例定数削減反対の取り組みの現状と法案を出させない運動促進の決意、埼玉憲法会議の渡辺さんから、「憲法を暮らしに」と憲法を生かした震災復興、原発依存反対、県民の声をきくことが焦点になってきた知事選挙での奮闘、新婦人福島県本部副会長の五十嵐さんと仙台の弁護士・渡部さんからは被災地の実情報告とともに、放射性物質から子どもを守る運動の急速な発展、地元紙もあきれている被災者放置の国会、財界本位の復興計画などの現状への怒りが語られました。

### **世論と運動をさらに大きくするために—4つの行動提起**

松本秀典東京地評事務局長がおこなった行動提起は以下のとおりです。

- ①**国会行動** 延長されている今国会中に再度国会行動を行なう。8月3日(水)午後1時30分～衆議院議員面会所での集会、集会後の議員要請行動に参加しよう。
- ②**学習** 学習を草の根からねばり強く行なおう。学習資料は、6・9大集会の渡辺治氏の講演など掲載の『月刊憲法運動』7月号、ブックレット「国会議員定数削減と私たちの選択」、全労連や自由法曹団作成のリーフレットなど多彩。講師も自由法曹団や憲法会議などから講師料の心配なく派遣する。またさまざまな課題やテーマの運動のなかでこの問題について一言訴える努力をしよう。
- ③**ニュース発行** 運動や取り組み、変化の交流を強めよう。それぞれでニュースなどをだすとともに、全労連に集中して、全国に普及しよう。励まし励まされるようにしよう。
- ④**署名** 世論を変えるには署名がもっとも有効。さらに多くの署名を積み上げよう。西村富佐多全商連副会長が、閉会のあいさつを行ないました。

### **「民意を反映しなくなるというのはそのとおり」—議員要請**

集会後、民主党議員への二順目の要請に突入、約90人の事務所を訪問しました。

要請・対話のなかで、「よく検討する」「減らせの声は多いが『削減反対』は珍しい」「中選挙区制がいい」「小選挙区制と中選挙区制の間がいい」「80削減でいくと民意が反映されなくなるというのはそのとおり」「外国と比べても多いとは思わない」「こういう議論がもっとニュートラルに出るといい」「まとまるだろうか」「小さい政党含め、比例の大切さはわかる」などの声や反応が寄せられました。

---

---

### **※『6・9比例定数削減反対大集会特集』『月刊憲法運動』7月号好評発売中!**

市田忠義共産党書記局長国会報告／渡辺治一橋大学名誉教授の講演／8団体代表のリレートーク／集会アピール  
「震災と憲法—自治体と自治体労働者の役割と課題」(自治労連・柴田英二、角田英昭)も収録

0 特別定価 500 円(2~9部単価 450 円、10部以上 400 円)(送料別)

※街頭宣伝に、軒先に、**比例定数削減反対「のぼり」**(800 円・送料別)も販売中

※ブックレット**「国会議員定数削減と私たちの選択」**(2刷突入 新日本出版社刊 500 円)

《お申し込み、お問合せは⇒憲法会議へ》